

第四回エコバイオフォーラムを開催しました（2015/3/17）

テーマ：ハワイ大及びフィリピン・サンラザロ病院との感染症における発表、共同研究の研究打ち合わせ及び交流
場所：東北大学星陵キャンパス

3月15日(日)～18日(水)、当研究所の服部俊夫教授、浩日勲助教（災害医学研究部門 災害感染症学分野）の招待で、ハワイ大学の Lishomwa 助教、Ivo 博士及びフィリピン・サンラザロ病院の Telan 所長が来日し、東北大学が主催した第3回国連防災世界会議 Public Forum と当研究室が主催した 4th Eco-Bio Forum において発表をされました。特に、我々が共同研究を続けるフィリピンの感染症研究とその過程で発見された感染症における疲弊T細胞の解析による報告がなされました。また、マニラの SACCL のテラン所長が、最近のフィリピン全土の性病と HIV に関する報告をされました。続いて、フィリピンで未治療の HIV 感染者由来ウイルスの薬剤耐性変異をハワイ大学の Ivo 博士が報告しました。また東北大学の免疫学教室の藤田博士が、SIV 感染における免疫疲弊 T 細胞マーカーについて、藤田博士の指導教官でもあったハワイ大学の Lishomwa 助教が、疲弊 T 細胞マーカーである Tim3, PD1 及びそのリガンドであるガレクチン 9 について発表しました。当研究所からは白鳥研究員が結核感染におけるマトリセルラー蛋白を、北海道大学の鈴木教授が結核の世界における遺伝子型とその広がりについて概説しました。また、滞在中に Telan 所長とは共同研究のレプトスピロシスの論文のまとめについて討論を、ハワイ大学の Lishomwa 助教、Ivo 博士とはエイズ、ウェストナイルウイルス感染症などの共同研究項目について discussion を行いました。

文責：服部俊夫教授 浩日勲助教（災害医学部門）